

社会科の研究構想

東小学校

研究主題

自ら課題を解決し、
仲間と共に学ぶ
児童生徒の育成

～新学習指導要領の全面
実施に向けて～

教科の今日的な課題[新学習指導要領の方向性]

社会科では、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養うことを目指している。

そのために、地域や我が国及び世界の地理・歴史や現代社会の仕組みなどに関する知識や技能の習得、思考力・判断力の活用を通して、「概念」の獲得が必要である。また、諸資料や調査活動から必要な情報を適切に調べまとめたり、学んだこと・調べたことを基に思考・判断・表現したりすることで、社会への関心を高め、社会への関わり方を選択・判断できるなどの主体的に学びに向かう力を育成していく。

児童生徒の実態から

(○成果 ●課題 ☆指導の方針)

○自分達で課題を見出し、資料をもとに課題を解決していくという社会科の学び方はおおむね定着している。導入の工夫をしたことで意欲的に取り組める子が増えてきた。

●課題に対して、自分の追究の根拠となる視点を持ち、社会的事象に対する自分なりの考えをもつことができる児童もいる。しかし、自分の考えを仲間の考えと比較し、その中から新しい見方や考え方を獲得することに弱さがある。

☆社会的事象に対する関心を高める工夫や、様々な資料を活用できるように指導する。さらに、獲得した見方や考え方を別の視点や立場などからより深めることができるような指導の手立てを工夫する。

社会科の研究主題

よりよい社会の実現をめざす子が育つ社会科学習

～子どもが社会とつながる授業を通して～

よりよい社会の実現をめざす児童生徒の姿

- 社会的事象に関心をもち、基本的な知識・技能をもとに社会的見方・考え方、概念を作り出していく姿
- 社会的事象を多面的・多角的に考察し、仲間と練り合う中で、新たに自己の認識の深まりを自覚できる姿
- 社会への関わり方を選択・判断し、よりよい社会の実現に向けての意欲や思いが高まる姿

研究 内容 1	教材化や単元構成の工夫 ① 社会的事象を自分のこととして捉えることができる教材の開発 ・子どもが社会とつながるための教材の在り方 ② 「社会的事象の見方・考え方」を明確にした単元構成表の作成 ・【位置や空間的な広がり】【時期や時間の経過】【事象や人々の相互関係】の三つに分類された視点 ・社会への関わり方を選択・判断する力の育成 <単元構成表における視点の位置付け>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;"> 【時期や時間の経過】 ①時代 ②起源 ③由来 ④背景 ⑤変化 ⑥発展 ⑦継承 ⑧維持 ⑨向上 ⑩計画 ⑪持続可能性 </td> <td style="width: 33%;"> 【位置や空間的な広がり】 ①地位的位置 ②分布 ③地形 ④環境 ⑤気候 ⑥範囲 ⑦地域 ⑧構成 ⑨自然条件 ⑩社会的条件 ⑪土地利用 </td> <td style="width: 33%;"> 【事象や人々の相互関係】 ①工夫 ②努力 ③願い ④業績 ⑤働き ⑥つながり ⑦関わり ⑧仕組み ⑨協力 ⑩連携 ⑪対策・事業 ⑫役割 ⑬影響 ⑭多様性と共生 </td> </tr> </table>	【時期や時間の経過】 ①時代 ②起源 ③由来 ④背景 ⑤変化 ⑥発展 ⑦継承 ⑧維持 ⑨向上 ⑩計画 ⑪持続可能性	【位置や空間的な広がり】 ①地位的位置 ②分布 ③地形 ④環境 ⑤気候 ⑥範囲 ⑦地域 ⑧構成 ⑨自然条件 ⑩社会的条件 ⑪土地利用
【時期や時間の経過】 ①時代 ②起源 ③由来 ④背景 ⑤変化 ⑥発展 ⑦継承 ⑧維持 ⑨向上 ⑩計画 ⑪持続可能性	【位置や空間的な広がり】 ①地位的位置 ②分布 ③地形 ④環境 ⑤気候 ⑥範囲 ⑦地域 ⑧構成 ⑨自然条件 ⑩社会的条件 ⑪土地利用	【事象や人々の相互関係】 ①工夫 ②努力 ③願い ④業績 ⑤働き ⑥つながり ⑦関わり ⑧仕組み ⑨協力 ⑩連携 ⑪対策・事業 ⑫役割 ⑬影響 ⑭多様性と共生	
研究 内容 2	学習活動の工夫 ① 社会的事象を関連付けて捉え多角的に考える学習活動 ・様々な立場や意見から多角的に考える学習活動の意図的な設定 ・複数の立場や意見をふまえて考える必然性を生み出す教師の発問 ② 社会への関わり方を選択・判断する学習活動 ・単元の終末における選択・判断する場の意図的な位置け		
	指導・援助の工夫 ① 社会とのつながりに気付く確かな見届け ・実態の見届け ・学習状況の見届け ・定着状況の見届け ・学習後の見届け ② 学習環境の工夫 ・人材の活用、ICT機器・ホワイトボードの活用 ・実物の提示 ・体験的な活動		